



大槌町社協だより

心つながべし おおつち



ボランティア活動者数 延べ 78,875 人、ボランティア活動件数 延べ 8,347 件 (11/20 現在)

大槌学園で「キャップハンディ体験学習」!

11/29 (火) に大槌学園の 4 年生 71 名を対象に、キャップハンディ体験学習を行いました。
 ※キャップハンディ体験とは、障がいのある状態の疑似体験を通じ、障がいに対する「気づき」を促す啓発活動です。

はじめに、講師の藤原 正さん(東道院:鍼灸師)から「視覚障がいについて」お話しを聞いた後、二グループに分かれて白杖を使った「ガイドヘルプ体験」と「車いす体験」を行いました。

体験を終えて、生徒からは「障がいについて学ぶことができた」「目の不自由な方や、足の不自由な方が困っていたら助けてあげたい」などの感想が聞かれました。

障がいのある人の困っている状況や思いを想像してみることで、そして、身近に困っている人がいたら、優しく声をかけられる勇気を持ちましょう。



学校以外にも、自治会や企業の研修でも体験できます。事前にお問合せください。

【お問い合わせ先】大槌町社協ボランティアセンター ☎0193-41-1555

もちつき大会で住民交流

11月26日(土)大ケロー丁目町営住宅を会場にもちつき大会を行いました。この事業は、社協が進める「住民交流の場」づくりの1つとして、「岩手県共同募金会 あったかいわてプロジェクト~地域みまもり応援募金~」から助成を受け、生活支援相談員が企画したものです。

当日はお天気にも恵まれ、町営住宅をはじめ、大ケロや源水地区の住民、「ぼこあぼこ」の子ども達も参加しての賑やかな交流会となりました。

参加者からは「機械より、やっぱり臼でついた餅の方がおいしい」「震災前は家にも臼があったなあ」「久しぶりに餅をつくが、体が覚えている」等々、昔を懐かしむ声が聞かれました。



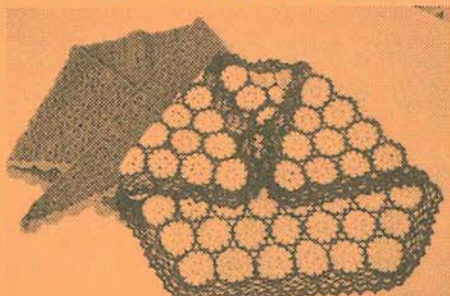
◆ 手編みの肩掛け さし上げます ◆

今年も、東京都千代田区社会福祉協議会を通じて、千代田区のボランティアグループ「ひつじの会」から手編みの作品が届きました。今回で2回目、被災地への支援活動として取り組まれているものです。

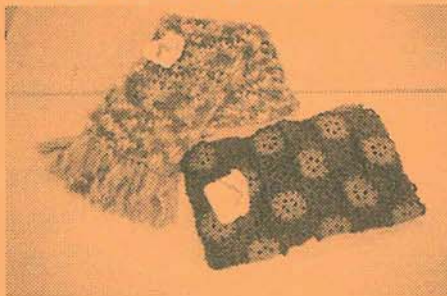
作品は、肩掛け、座布団、マフラーの三種類。デザインや色、サイズ、数はさまざまです。ご希望の方は、事前にお問い合わせのうえ、社会福祉協議会までお越しください。

なお、数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。

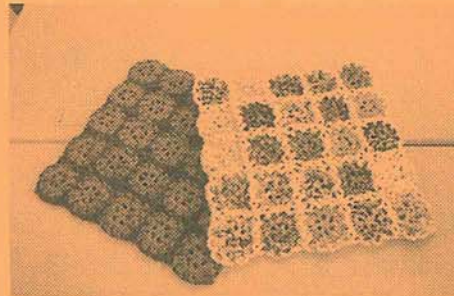
※作品を見てみたい方は、下記までお問合せください。



肩掛け 7点



マフラー4点



座布団 21点

【お問い合わせ先】大槌町社協ボランティアセンター ☎0193-41-1555

(電話受付：月～金曜日 8:30～17:15)

◆お知らせ



大槌町社会福祉協議会では、自治会や団体などに物品（イベント用、レク用、作業用）の貸出をいたします。地区でのイベントなどを行う際はぜひご活用ください！！

◆貸出物品（例）・臼、杵、ビンゴゲーム、的当てゲーム、すき焼きゲーム、トランプ
そのほかにも色々ありますので、お問合せください。



～ 災害義援金情報 ～



じぶんのまちを
よくするしくみ

大槌町の皆さまからお預かりした災害義援金は、各県の共同募金会をとおして、被災者に配分されます。

【平成28年熊本地震義援金】

29件 1,443,461円

【岩手県台風10号大雨等災害義援金】

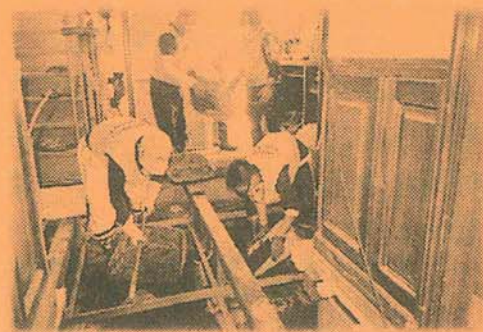
3件 14,497円

受付期間：平成29年3月31日（金）まで

【お問い合わせ先】

岩手県共同募金会 大槌町共同募金委員会（大槌町社会福祉協議会内）

☎0193-41-1511



お問合せ先：大槌町社協ボランティアセンター

0193-41-1555

この広報紙は、岩手県共同募金会から配分を受けて作成しています。